

## 月別概況（令和元（平成31）年）水産

### 1月

#### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 920円

一般近海及び小釣物では、タコ入荷安定保合、赤舌、ガン多く安値。サワラ、サゴシ入荷安定保合。平目、スズキ多く安値。トラフグ、クエ水揚げ少ないが、九州、愛媛が安く全国的に安値続く。青物では、サバ長崎からの入荷安定保合、ハマチ、ブリ島根、愛媛から入荷安定保合、アジ和歌山からの入荷安定しているが買い気なし。養殖物では、カンパチ浜値上昇、ハマチ、ブリ全国的に在池前年並売り堅調。太物では本ヨコ長崎、高知中心高値安定。ビン、カツオは、水揚げ少ない値も安定しない。

#### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 1,023円

シラス鰻漁も歴史的不漁と言われた2017-2018年と比較すると2019年は、高水準で採捕されているイレギュラーな年を除き通常年と比較すると約半分程度なので今年も夏は、高値安定と推測される。

#### 加工水産物

1kg当たり平均単価 375円

1-2月は、和田島の漁が休みなので入荷は、ほとんどない、仲卸も在庫がある為売り場は、閑散としていた。

### 2月

#### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 804円

一般近海及び小釣物では、タコ入荷安定保合、サゴシ多く安値続く。平目入荷多くも保合。アオリ少なく高値。コチ、チヌ、サイズ中小多く安値。青物では、サバ三重、日本海からの入荷安定しかし買い気は、全くなし月中値下落、アジ系県内の定置安定して保合、ブリ入荷安定するも買い気なし先月と比べてかなり下落。養殖物では、カンパチ愛媛筋から浜値上昇、在池微量で浜値、売値高値安定。ハマチ、ブリ全国的に在池前年並浜値、売値横ばい。太物では、本ヨコは、長崎、高知中心で長崎の水揚げ多く値崩れ、ビンヨコ鹿児島中心で安値。トンボは和歌山中心。

#### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 998円

アフリカ原料のタコが値下げになり5月連休あたりより製品単価も下がる。紅サケは、不漁の為高値。サイズは、小さい。銀サケは、大型サイズ中心の原料なので切り身加工するのが難しい。

#### 加工水産物

1kg当たり平均単価 322円

和田島は、漁がなく香川のいかなごが少々あり値は、高い。

ちりめんは、高知と鹿児島で獲れていて値も高い。

### 3月

#### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 789円

一般近海及び小釣物では、グレ、ガシラ入荷安定保合。平目、コチ底曳多く入荷安定保合。いか類入荷

安定、高値保合。青物では、サバ県内、三重からの入荷安定先月に比べ持ち直した。アジ和歌山、県内から入荷安定、買い気あり、ブリ入荷安定だが段々と買い気なくなった。養殖物では、カンパチ引き続き浜値上昇、在池薄、ハマチ、ブリ浜値安定売り堅調。太物では、本ヨコは、漁獲量規制により高知からの入荷ほとんど無く愛媛、長崎中心になるが入荷不安定。ビンヨコは、鹿児島が中心で安値。カツヲは、水揚げが少ない。

#### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 954円

タラバガニは、アラスカ産ロシア産共に国内フリー在庫は、少なく相場は、堅調に推移しており品薄感が明確になってきた。秋魚まで大きな搬入なく相場も引き続き堅調に推移すると予想される。

#### 加工水産物

1kg当たり平均単価 292円

和田島は、漁が無く休み、香川がいかなごが少々水揚げがあり値も高い。

ちりめんは、高知でも値が高い。

### 4月

#### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 828円

一般近海及び小釣物では、県南 イサキ入荷安定保合、尺少なく高値続く平目オコゼ多く安値続く、メイト少なくて高値保合、油目マコカレイ良品高値。青物では、サバ県内外からの入荷安定保合、アジ和歌山、県南から入荷安定保合、ハマチ、ブリ県外から入荷安定するが買い気なしなし、イワシ日本海から入荷安定するが買い気なし。養殖物では、カンパチ先月から引き続き浜値上昇、在池薄、ハマチ、ブリ浜値安定売り堅調。新物が若干であるが出始めた。太物では、本ヨコ漁獲量規制により入荷不安定、ビンヨコ鹿児島千葉中心四国沖でも獲れる、かつをの水揚げ多く暴落続く。

#### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 884円

貝柱の入荷が遅れ高値が続いている。あんかの噴火湾の貝柱やオホーツクの4S、3Sサイズの引き合いが強い。新物入荷とともに値が下がるとの見込み。

#### 加工水産物

1kg当たり平均単価 292円

和田島のちりめんの漁は無く高知と宮崎が獲れてて値も高い。

### 5月

#### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 817円

近海及び小物釣りでは、鰹水揚げ前年の半分、ほとんど水揚げなし、尺入荷不安定高値続く。活コチ、マコカレイ、油目入荷安定保合。青物では、サバ県内からの入荷安値保合。アジ、豆アジ増え保合、ブリ入荷安定するが全く買い気なし。

サゴシ瀬戸内入荷安定保合。養殖物では、カンパチ依然在池少なく高値安定、売り堅調、ブリ在地少なくなり2年魚にシフトしだす売りは、堅調。太物では、本ヨコ三陸の定置長崎の釣り物が入りだすが入荷不安定で高値。ビンヨコ高知沖で釣り定置あがり出し値崩れおこす、かつを四国沖での水揚げ減り浜値上がるが

売りついてこない。

冷凍水産物

1kg当たり平均単価 837円

量販店のバナメイエビ販売の影響もあり大型サイズの相場強含み、7月から搬入が増えるが極端な相場の変化は、見込めず。

加工水産物

1kg当たり平均単価 375円

和田島のちりめん漁は、昨年より少ない値も少し安い。

6月

生鮮水産物

1kg当たり平均単価 809円

近海及び小物釣りでは、鰹水揚げ少なく高値保合。マコカレイ、コチ水揚げ少なく高値保合、タコ入荷安定保合、尺入荷少なく安定。青物ではサバ九州から入荷始まるが買い気は、いまいち。豆アジ入荷安定保合。平アジ、丸アジ県内外から入荷安定保合。片口の入荷始まるが買い気なし。養殖物では、カンパチ依然在池少なく高値安定、売り堅調。ブリ、ハマチ2年魚へ切り替わり浜値上昇、売り堅調。太物では、ヨコは、漁獲量規制により入荷不安定の為高値。ビンヨコは、高知、徳島の日帰り定置の水揚げ減り高値、かつをは、和歌山、高知中心で気仙沼からの入荷は、まだない。

冷凍水産物

1kg当たり平均単価 1,001円

シラス鰻漁の不漁から今年の土用の丑の日も価格は強く量販店、専門店も積極的な売り込みは、7月中旬以降となりそう。

加工水産物

1kg当たり平均単価 393円

ちりめん漁は、全国的に昨年より多く値も安い。

煮干しは、香川が始まり昨年より値は高い。

7月

生鮮水産物

1kg当たり平均単価 904円

近海及び小物釣りでは、鰹前年より水揚げ少なく大阪、京都相場安値続くが高値続きで県外発送ほとんど無し。鳴門定置等ハマチ類多水揚げ続き安値。青物では、サバ長崎からの入荷安定、買い気まちまち。アジ系県内外からの入荷安定保合。7月は、サバ、アジがメインとなった。養殖物では、カンパチ2年魚成長せず依然在池少なく高値相場。ハマチ、ブリ売り堅調。太物では、ヨコは、長崎3-4k 青森5kからが中心で高値安定、ビンヨコは、鹿児島千葉が中心で安値。カツヲは、高知、和歌山の日帰りが減っていき気仙沼からの入荷始まる。

冷凍水産物

1kg当たり平均単価 962円

モーリタニア産タコ原料は、水揚げ少なく値上げになる。サケは、銀サケフィーレ価格が安定して特売も多くなっている。紅サケは、豊漁で国内だぶついている。

#### 加工水産物

1kg当たり平均単価 471円

ちりめん漁は、全国的に多く値も安い。

紅サケは、多く値は、下がり気味。

#### 8月

##### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 903円

近海及び小物釣りでは、タコ入荷安定保合。サワラ、サゴシ水揚げ多く安値。釣り定置ツバス類多く水揚げあるが相場保合。車エビ、アッコ高値続く、ワタリガニ多く安値。青物では、サバ県内外から入荷安定保合。アジ、豆アジ、小あじの入荷量多く下落、サンマ後半から入荷増えるが浜値高くかなり厳しい状況だった。養殖物では、カンパチ依然浜値高値在地少ない。ハマチ、ブリ類浜値若干下げ傾向、売り堅調。太物では、本ヨコは、九州、山陰の旋網が中心で値崩れ起こす。ビンヨコは高知で沢山とれる、小ビン中心で値崩れした状態続く。カツヲは、気仙沼、長崎安値安定。

##### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 854円

生タラバガニは、引き続き品薄な状況が続いておりキロ単価も5000円前後となり荷動きは、スローになっている。年末向けの引き合いはあるが相場が下がることは、ないと思われる。

##### 加工水産物

1kg当たり平均単価 441円

全国的にちりめん漁が多く値は、今年の半分程度。

#### 9月

##### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 871円

一般近海及び小釣り物では、タコ入荷減高値保合。鱧前年より水揚げ減。車エビ、マコカレイ、平目相場高値保合。ワタリガニ水揚げ多いが良品少なく安値。青物では、サバ浜値高く入荷安定せず入荷量少なく買い気なし。サンマ浜値高く入荷量かなり少ない。養殖物ではカンパチ高値、ハマチ、ブリ浜値変動なし、売り堅調。太物では、本ヨコ九州と境港施網は、安値、県南、高知の定置は、高値K2000円前後、ビンヨコは高知で沢山獲れ小ビンが中心値崩れした状態続く、カツヲは、気仙沼で安定して獲れ値も、保合。

##### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 1,021円

貝柱の小型サイズ不足の為年末に向け値上がり傾向。

ポイルホタテは、各社在庫過多の為下げ合いの見込み。

サバの漁獲枠が増え値下がり予想。。

##### 加工水産物

1kg当たり平均単価 402円

和田島のちりめん漁は、前の月より少なく安値安定、返りは、前半漁が多く安定で後半は、漁が無く高値。

## 10月

### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 761円

一般近海及び小釣物では、鳴門方面、釣りハマチ、ツバス多く安値保合、ボーゼ中小多く保合、大、特大サイズ 高値。平目、オコゼ良品少なく高値保合。青物では、サバ県内、九州からの入荷安定、買い気なし。アジ系豆アジは、県内外からの入荷安定前半は、姿寿司用の需要があり祭り期間は、買い気上々。養殖物では、カンパチ瀬戸内相場も出て若干下げ気味、ハマチブリ類共に下げ、売り堅調。太物では、本ヨコ九州と境港の施網は、安値、四国内定置は、高値、ビンヨコは高知の小ビン中心で値崩した状態続く、カツヲ気仙沼は台風の影響で浜値安定せず高知は高値で売りがついてこない。

### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 933円

ブラックタイガー、バナメイエビ共に搬入減少の影響により相場反転し強含み、年末商材でもあるオーストタイガーは、自国での消費が進まず下げ相場。

### 加工水産物

1kg当たり平均単価 360円

ちりめん漁は、昨年より少なく値は、安定。

数の子の値は、昨年と同じぐらい。

## 11月

### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 831円

一般近海及び小釣物では、釣りハマチ、ツバス入荷安定、アオリ水温が高く水揚げ前年の約半分相場保合、カワハギ類入荷安定、中頃まで高値続く。青物では、サバ県内外からの入荷安定、アジ県内からの入荷安定どちらも保合、サワラ、サゴシは、日本海からの入荷安定せず高値、イワシ入荷安定しないが保合。養殖物では瀬戸内相場少し下げ傾向ハマチ、ブリ類引き続き浜値安定売り堅調。太物では本ヨコ九州山陰が中心で入荷は、不安定で高値、ビンヨコは各地水揚げ少なく不安定浜値が高く売りがついてこない、カツヲは、中旬まで気仙沼から入荷それ以降は少なく高値。

### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 956円

台湾シラス11月1日ー中国シラス12月1日スタートしているが今年スタートは、悪く価格もハイグレードなスタートとなっている。12月中旬からの日本シラス漁は価格に左右されそうだ。

### 加工水産物

1kg当たり平均単価 425円

ちりめん漁は、少なく安値安定。

数の子は、昨年並で値も昨年と同じ位。

## 1 2月

### 生鮮水産物

1kg当たり平均単価 897円

一般近海及び小釣物では、トラフグ、クエ 水揚げ少ないが高級魚の動きが悪く保合、赤舌、ガンゾウ多く安値。活平目高値続く。ハゲ類鳴門方面高値、県南ヤセ多く安値、青物では、サバ県外主に青森から入荷安定保合、アジ類豆アジ、小アジは、県内からの入荷が安定、豆アジの入荷量かなり多く値は、下落。ブリ、ハマチ日本海からの入荷安定していたが地物多く浜値にもとどいていない。養殖物ではブリ、カンパチ、ハマチ浜値安定、売り保合、瀬戸内のカンパチ在地が無くなった。太物では、高知で本ヨコビンヨコの水揚げ多く値崩れおこす、年末は長崎の本ヨコ中心だが少ない。

### 冷凍水産物

1kg当たり平均単価 1,201円

モーリタニア産真タコの値崩れで末端売価もチラシを入れやすくなっている。

銀サケフィーレも同じく値崩れし2ヶ月前より200円/K下がっている。

### 加工水産物

1kg当たり平均単価 478円

ちりめん漁は、昨年と比べ少し多く値は、安い。

数の子は、昨年と比べ少なく高値。